

子どもの【心と体】と【学び】を守る学校教育プラン ver.1

令和2年3月30日（月）
札幌市教育委員会

学校の取組

プランA 感染症対策を徹底します

感染源を絶つ
努力

毎朝の丁寧な健康観察の実施

感染経路を絶つ
努力

手洗いと咳エチケットの徹底

子ども同士のスペース確保（手の届かない程度の距離）
適宜、消毒を実施し安全確保

集団感染リスク
を避ける努力

集団感染の「3つの条件」の重なりを回避
⇒密閉空間・密集・密接会話
定期換気と咳エチケットの徹底

ご家庭での ご協力をお願いします

登校前の検温・記録を確実に
（夕食後も検温するなどこまめにチェックを）

下校後、外出後に必ず手洗いを
間隔・手洗い⇒登校前に一言声掛けを

お子さんと一緒に確認と取組を



プランB 心と体のケアを徹底します

子どもの変化
を把握しケア
する努力

朝・授業中・給食中を通じた観察
養護教諭等の健康相談
スクールカウンセラーの支援

抵抗力を高め
る努力

バランスのとれた食事（給食提供）
適度な運動の実施
生活リズムの指導（食事・睡眠・運動）

気になることは学校にご相談を
リラックスする時間をとって
散歩や公園で走る、縄跳びなど
感染リスクの低い活動を

学校の給食だよりも参考に
市教委動画も参考に適度な運動を
生活リズムを記録することなど

プランC 学びのケアを徹底します

学ぶ力を補う
努力

補充が必要な学習内容の整理
補充のための計画的な授業実施

学ぶ力を高める
努力

学ぶ意欲を伸ばす支援の徹底

不安な点は学校にご相談を

「まほうのかいわ」で支援を



4月の「子どもの【心と体】と【学び】を守る学校教育プラン」

子どもと教職員以外の入校は最小限に

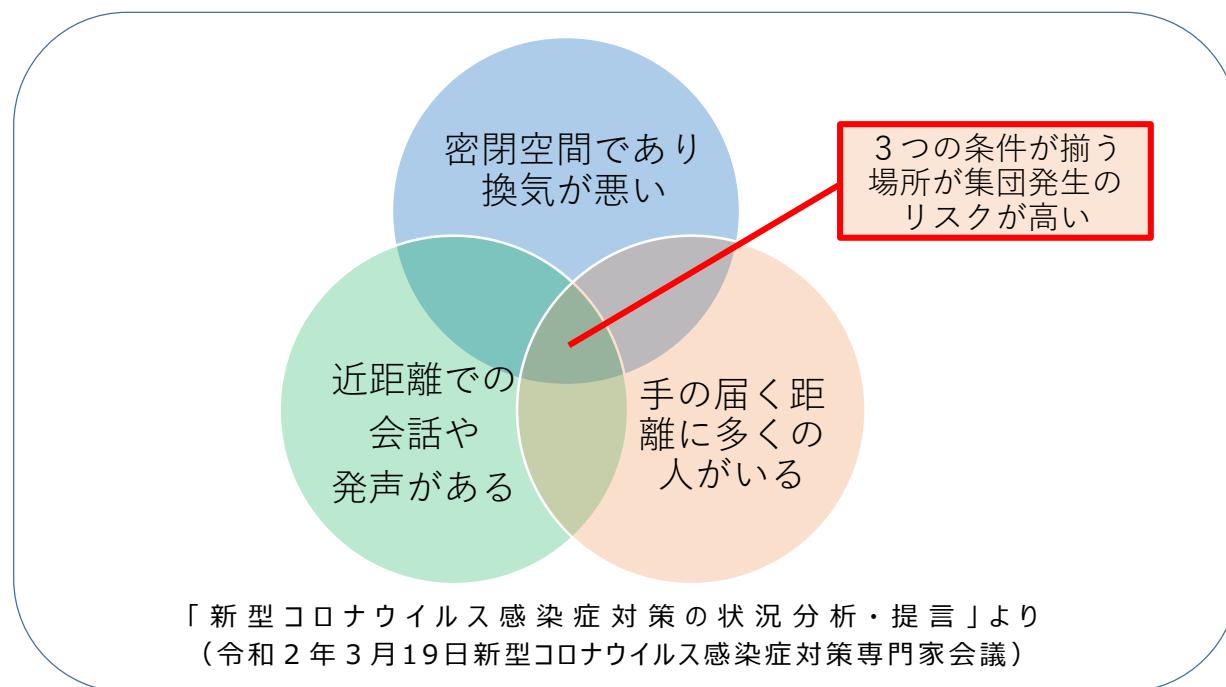
○授業・行事は教職員と子どもで

- * 小学校1年生の入学式のみ保護者の入校は必要
- * 学校運営上必要な場合は最小限の関係者の入校可
⇒入校時の感染症対策を徹底

3条件が重ならない活動を...【密集・密接・密閉】

○座席間隔・活動方法は「手の届かない程度の距離」で

- * 「始業式は校内テレビ放送で」「入学式は2回に分けて」など
- * 「給食は対面を避けて」「会話は近づかずに」など
- * 人が集まったの歌唱や身体接触を伴う活動は行わない



○地域・保護者の協力を得て登下校の見守りを

- * 間隔をとっての登下校（通学路・玄関での声掛け、見守り）
- * 見守りの中での気付きは学校と情報共有して対応

この時期の配慮として

- 全国的に市販のマスクが手に入りにくくなっていることから、ご家庭で用意した手作りマスクなどを着用することも。
- マスクがない場合、咳エチケットの徹底が有効であることを理解して習慣化を。（ハンカチなどで口を押えるなど）

この時期の部活動（始業式以降再開）

- 3条件が重ならない活動となるよう、内容と方法を工夫。
- 健康と安全の確保を優先して。
 - * 活動場所や活動時間の分散、換気の徹底
 - * 活動前後の手洗いの徹底
- 当面の間は自校での活動とし、交流試合等は控える。